

当院の感染対策について

Infection Control

鶴川サナトリウム病院では、皆さまに安心して受診・入院していただくために、さまざまな感染対策を実施しています

入館前の感染対策

来院者にマスク着用と手指消毒のお願い

当院では高齢の方など重症化リスクの高い方が多いため、引き続きご来院の際はマスクの着用と手指消毒をお願いします。



送迎バスの消毒

安心して乗車していただけるよう、ドア、手すり、座席、シートベルトなど丁寧に消毒しています。



院内の感染対策

非接触型体温測定

受付前に、非接触型の体温測定器を設置しています。来院者は体温を測定し、発熱があった場合は受付にお申し出いただけます。



院内の換気

全館熱交換型換気システムにて24時間換気を行なっているほか、各フロアの解放可能な場所では、安全面を考慮しつつ、できる限り窓や扉を開放し、院内換気を行なっています。



清掃の徹底

人が多く触れる場所（椅子、手すり、ドアノブなど）は一日複数回清掃・消毒を実施しています。



患者さま毎の設備・検査器具の消毒

診察や検査時に、患者さまが使用したベッドや枕、椅子、検査器具などは、使用の都度、消毒をしています。



発熱患者用スペース

通常の患者さまと交差することがないように、別のスペースでお待ちいただいております。



代理受診システム

医師が判断した場合のみ対応しております。ご相談ください。



入院時の感染対策

健康観察期間の設定

感染リスクを軽減するため、病棟に入る前に新型コロナウイルス検査（抗原検査）を実施しています。

病棟内の感染対策

清掃の徹底

人が多く触れる場所（椅子、手すり、ドアノブなど）は定期的に清掃・消毒を行ない、リハビリで使用した器具は患者さま使用の都度、消毒を実施しています。



病棟内の換気

全館熱交換型換気システムにて24時間換気を行なっているほか、各フロアの解放可能な場所では、安全面を考慮しつつ、できる限り窓や扉を開放し、院内換気を行なっています。



消毒後の器具管理

消毒した器具は、個別に管理ボックスへ保管し、消毒前のものと接触がないよう管理しています。



職員の感染対策

全職員にマスク着用・手指消毒の徹底

勤務する全ての職員はマスクの着用と、各出入口に設置してある消毒用アルコールでの手指消毒を徹底しています。



アルコール常時携帯

勤務する全ての職員は、消毒用アルコールを常に携帯し、手指消毒を徹底しています。



防護具着用

患者さまを直接担当するスタッフは、必要に応じてエプロン・ガウン・ゴーグル・手袋を着用しています。



体調管理記録表

感染対策委員会が体調不良基準を定め、全職員が毎朝チェックを行ない、管理者は職員の体調を把握しています。



職員食堂の対策

対面での食事、マスクを外しての会話を禁止し、黙食を徹底し、感染防止に努めています。

